

## アデ・マジリアベ R I 会長夫人のご逝去を悼んで

数週間前に起こった脳卒中のため、ジョナサン・マジリアベ R I 会長エレクトのアデ・マジリアベ夫人が、2003 年 6 月 6 日、英国イングランドにおいて逝去されました。夫人の思いやりとユーモア、ロータリーへの献身ぶりは、ロータリー内においてよく知られ、愛されるところでした。

故国ナイジェリアでは、奉仕団体インナーホイール (Inner Wheel) に所属し、アデ夫人はそこで積極的に活動し、国際インナーホイールの理事を務めました。また、保険の損害査定人を生前の職業とし、教会の聖歌隊で歌い、裁縫やファッションデザインを楽しんでいました。夫人は、息子のジョン氏を残して亡くなりました。

アデ・マジリアベ夫人は、夫とともに出席した R I 国際大会や国際協議会、そのほかの会合において、気さくに振る舞われました。2003 年の国際協議会では、配偶者セッションをリードし、そこで、世界の最も差し迫った課題に取り組むという夫のメッセージを強調して、「人道主義に基づく奉仕者として知られる特権を与えられた人々とロータリアンの配偶者として、さらには奉仕を行える立場の人間として、私たちは、社会が自分たちに与えてくれた恩に報いるために協力しなければなりません。裸の人々に衣服を与えるため、貧しい人々に食べ物を与えるため、病気の人々を癒すため、さらに老人を介護し、家族を失った人々を慰めるために、私たちは手を貸さなければならないのです」と語りかけました。

2002 - 03 年度、彼女の補佐役を務めたゲイ・マロニー氏は、「夫とともに、アデ・マジリアベ夫人は献身と誠意をもってロータリーに奉仕し、ロータリーを代表してきました。とりわけ、世界中の不幸な人々に奉仕してきた彼女の献身ぶりは、私が保証します。彼女の美しい心と利他的な人格は、私を含め、生前彼女を知る幸運を得たすべての人々を感激させました」と語っています。

アデ夫人の葬儀は、6 月 13 日 (金) 午前 11 時半から、英国ロンドン N16 ストーク・ニューイングトン、ベチューン通りのセントアンドリュース教会で開かれました。

マジリアベ R I 会長エレクトへの弔辞は、R I 世界本部の会長室にお送りください。